

ほんわ館だより



第70号

平成30年7月発行
中山町立図書館 ほんわ館
中山町大字長崎8038-9
TEL:023-662-6688

開館時間

10:00～19:00

7月の休館日

2・9・17・23・30日

おはなし会は

21日(土)11:00～

今年もこの季節がやってきました… 夕涼み浴衣で図書館



怪談ナイト

ブックカフェ
18:00～20:15

怪談話の間は
閉店します

日時:2018年7月28日(土)

場所:ほんわ館 絵本コーナー

今年も背筋の凍る怖～いお話でひんやりしましょう…。



予告

まだまだやります!!『ほんわ館からの挑戦状』

●開催期間:7月27日(金)～8月12日(日)

●町内外の小学生対象

楽しみに
待つじゃ!!



休館のお礼

6月25日・26日・27日システム入替のため、お休みをいただきありがとうございました。
皆さまにはご不便・ご面倒をおかけし、大変申し訳ございませんでした。
貸出・返却のデータでご不明の点がございましたら、カウンターまでお申し出ください。



裏面のおすすめ
コーナーは
『怪談・こわ～い本』
です。
夜眠れなくなる
かも…?

第39走者

愛読書リレー

今月のランナーは石沢 卓さんです!

『屍人荘の殺人』

今村 昌弘/著
東京創元社



『屍人荘の殺人』

今村 昌弘/著
東京創元社
【913.6/イ】

ある大学ミステリ愛好会の葉村譲と会長の明智恭介は、映画研究部の夏合宿に参加するため、同じ大学の探偵少女、剣崎比留子とペンション紫湛荘を訪れる。

そこで偶然起こった「ある出来事」をきっかけにペンションに閉じ込められ、次々に謎だらけの殺人が…。葉村たちは「ある出来事」により深まる謎を解くことができるのか。

読み進めていくと何度も「えっ」という予想外の出来事が起き、飽きることがありません。また、文章の多くが主人公の視点で描かれており、物語の中に入りやすいので、本を読む習慣が無い人にもおすすめの一冊です。

♪ありがとうございました!! 次月のランナーは 今井 達哉さんです

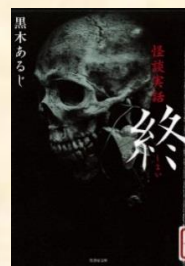
「怪談・こわーい本」



今年も
この季節が
やってきました

幼い頃
夏休みになると
テレビの前に座り
「怖い話」を
ゾクゾク・ワクワク
しながら見た記憶が
誰にでもあると思います

そんな昔を思い出しながら
ゾクッとする本を
手に取ってみませんか？



『終(ししまい)
怪談実話』
黒木 あるじ // 著
竹書房
【913.6/ク】



『怪談5分間の
恐怖 集合写真』
中村 まさみ // 著
金の星社
※児童書
【913/ナ】



『九十九怪談
第9夜』
木原 浩勝 // 著
KADOKAWA
【147/キ/9】



『あやかしの深川』
東 雅夫 // 編
猿江商會
【388.1/ア】

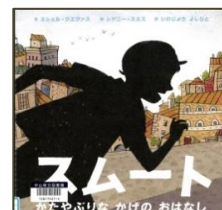


『黒い百物語 叫び』
福澤 徹三 // 著
メディアファクトリー
【913.6/フ】

他にもたくさん
ご用意しています



新しく入った本



山形新幹線開業から26年！
あの懐かしい銀色の車体も見ること
ができます

『スムート かたやぶりなかげのおはなし』
ミシェル・クエヴァス / 文 シドニー・スミス / 絵
いわじょう よしひと / 訳 BL出版【E / ス】

『新幹線全車種コンプリートビジュアルガイド』
レイルウェイズグラフィック / 著 グラフィック社
【546.5 / シ】

スムートは 男の子の「かげ」 おとなしい 男の子の
かげなので、つまらない毎日 をすごしていました
ある日 スムートは 男の子から はなれてしまいます
チャンス! やりたいことはたくさんあります!!

高齢者向け紙芝居が入りました

『もも子さんとオレオレ詐欺』
中村 ルミ子 / 脚本・絵
雲母書房 【紙芝居】



『昭和の窓』

やべ みつり / 脚本・絵
遠山 昭雄 / 監修
雲母書房 【紙芝居】



昭和のなつかしいあれこれが、「昭和の
窓」から見えてきます 思い出に会話も
弾む 楽しいひとときを過ごしましょう



『刑務所しか居場所がない人たち
— 学校では教えてくれない、障害と犯罪の話』
山本 謙司 / 著 大月書店
【326 / ヤ】(児童書)



『小学生の水泳最強上達BOOK
ライバルに差をつける!』

森 謙一郎 / 監修
メイツ出版 【785 / シ】(児童書)



ここに掲載されている本は一部です